

# 総持寺通り通信



第5号

総持寺通り商店街発行

## 春到来

## 門前そばの市開く

春の到来を味覚で実感する恒例の能登門前「そばの市」が3月1日、総持寺通りの商店街で開かれました。歩行者天国となった通りには、40店舗が出店、門前名物のそばをはじめ、浦上のコンニャクや総持寺祖院の朝粥、七面鳥ステーキ、能登丼、地酒、海産物などを求めて、大勢の人でにぎわいました。アトラクションもあり、門前高校のヨサコイ演舞や輪島・和太鼓虎乃介が出演し、祭りに華やかさを添えました。



大勢の人でにぎわった門前・そばの市＝総持寺通り商店街

門前そばと言えば、山芋をつなぎにしているのが大きな特長。この日は、門前そばの店だけで4店が出店、どこも家族連れらで混み合いました。福井県内から越前美山おろしそばの店も出て自慢のそばを披露し、人気を集めました。

また、雪割草の店も出店し、清純な彩りの花が来場者に春を感じさせました。

### 能登丼や朝粥も

### 美味求め人の波



今年は能登丼も登場



### サロンで創作料理など学ぶ



室谷さんを招いて開かれたサロン

#### 志賀の室谷さんを招き

第6回とごころサロンは3月4日、志賀町福浦で農家レストランを営む室谷加代子さんをもんぜんやに招いて開かれました。室谷さんは、創作料理で都会などの客から人気を得ており、講演では独自の「コロッケ」などを紹介、参加者からは、今度は自分たちで作ってみようとの声が出るなど、有意義な時間となりました。

#### 雪割草まつりなごPR

#### 横浜・鶴見区など訪れ

総持寺通り協同組合ではこのほど、3月21、22日に開く雪割草まつりをPRするため、横浜・鶴見区や大阪、富山を訪れ、道行く人たちにチラシなどを配りました。鶴見区には若手が赴き写真撮影、門前への来訪を呼びかけました。